

ARDECO NEWS

5号

特集「大型商業施設にみる建物の装飾 — アルデコの役割 その2」

BIG HOP ガーデンモール印西と、
アルデコ装飾

2008年2月25日発行

装飾建材 **アルデコ**

BIG HOP ガーデンモール印西と、アルデコ装飾

大型商業施設特集の第二弾は、昨年秋に千葉ニュータウンにオープンした「BIG HOP ガーデンモール印西」にスポットを当ててみる。

今回は、環境デザインを担当された株式会社 B-WAY'S 商業環境計画事務所・代表取締役の山本忠夫氏に、施設デザインという観点から、建物装飾の考え方についてお話を伺った。

千葉ニュータウンと「BIG HOP ガーデンモール印西」

2007年9月、千葉県印西市にある北総線「印西牧の原」駅前に、「BIG HOP ガーデンモール印西」が誕生した。千葉ニュータウンの中心ブロックに位置するリージョナル型ショッピングセンターだ。

千葉ニュータウン（以下、千葉NT）は、千葉県企業庁と都市再生機構（UR）の共同事業で、「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」などの多機能をあわせもつ、総合的な都市づくりをスローガンに現在も整備が進められている。

千葉NTといえば、豊かな田園環境を生かした「公園緑地」をもち、「機能的で便利な郊外型都市」というイメージが強い。2010年には東京―成田間を結ぶ新高速鉄道が開業予定とあって、近年では大型商業施設の進出が目覚ましいパワーセンターエリアだ。特にこの印西を中心としたエリアは、千葉NT構想の集大成といえる街づくりに、周囲の期待と注目が集まっている。



▲ バリューモールの公園広場と劇場

◀ 駅前ビレッジのアーケード街



施設コンセプトとアルデコ

この施設の事業者、株式会社ミキシング（本社：大阪市淀川区）は、「Great Value Mall—販売だけに特化しない、多様な価値が交錯するコミュニケーション空間の提供」をコンセプトに、千葉NTにふさわしい「新しい価値」の創造を目指す。エンターテインメントやアウトドア、ファッション、カルチャー、そしてライフスタイルなどの各ゾ

ーンと地元の特産品やこだわりの食材を提供する市場を含んだ駅前ビレッジで構成されている。家族やカップル、子供から高齢者まで、訪れる全ての人々が楽しめ、癒される場として事業化された。また、高さ50.8mの大観覧車は、ガーデンモール印西だけでなく千葉NTのシンボルとなるものだ。

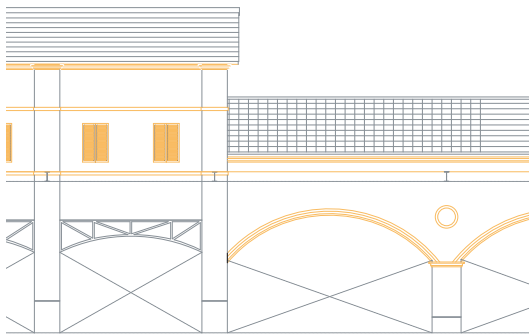
演出の切り替え効果とアルデコ

「ガーデンモール印西」の環境デザインを担当された山本氏は、NT世代の住民ニーズに配慮し、東京に失われた「緑」とロードサイド店舗にはないきめ細やかな「都会的センス」の両方を満喫できる「都市再生 — 都市型ナショナルトラスト」をイメージしたという。

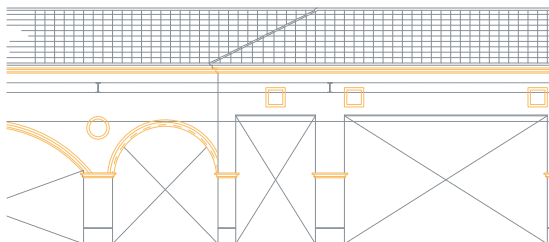
ただし、単なる「都市再生」に留まりたくはなかった。訪れる人々の潜在的な心理“何処かであたらしいものの再生 — 懐かしさや俗っぽさへの回帰”を呼び覚ましたかったと語る。

「当施設はマーケットが大衆的で、ファッション店の隣には100円均一や駄菓子屋など、いわゆる”バジェット”で”当たり筋”と言われるテナントが並ぶ一角もある。そうした店舗に、緊張感の漂うモダン建築は似合わない。人々が買物動機でなくふらっと立ち寄りたくなるような遊び心のある施設環境を目指した。

例えば、公園や造形物（恐竜のオブジェや劇場）で映画スタジオのシチュエーションをつくり、森・空・太陽・湖など、自然を巡る楽しさを演出してみた。来訪者が歩いていて何となく心地よく、楽しい気持ちになってくれたら環境意図としては成功だろう」



▲▼ 駅前ビレッジのポルティコ南面 アルデコ(黄色部分)



「成田 — 東京を結ぶ国際交通ラインを見据え、アウトレット店を多数組み込んだ〈インターナショナルステージ〉、訪れる全ての世代が楽しめ、イベントもある〈エンターテイメントステージ〉、オープンモールの特性を活かし、空、風、太陽光の降り注ぐポケットパークを連結させた公園都市を巡る〈ガーデンステージ〉など。以上のようなテーマを軸に

人々が日常を忘れ、心地よくドラマチックな時間を楽しめる工夫を施した。」

駅から降り立った人々は、まず駅前ビレッジのゲートに誘われ、中から聞こえる魚市場や物産店の威勢のよい声を耳にし、イタリアの下町をイメージする。そしてポルティコ風回廊を散策しながら開放感あふれるメインモールへと導かれ息を飲む。こうした各ステージの表情の変化に知らず知らず引き込まれていく。

「デザインコンセプトは、空間ごとに性格を持たせ、各舞台の演出を人々が予測するよりも早め早めに切り替えていくことだ」という。実際は、橋を切り替え点に雰囲気を変えている。人々は思い通りのシーンに合わせて時間を過ごすことができる。こうした舞台空間の切り替えが、快活さやエンターテイメント性を生み出し、都市的なセンスを醸し出している。

ではアルデコは、こうしたデザイン計画にいかにか柔軟に対応し、活用されたのだろうか。（次ページに続く）



▲ 夕刻の駅前ビレッジの賑わいとポルティコ風回廊

13世紀、イタリア・ボローニャ大学の学生たちのために、下宿を営む家主が二階の部屋を通りに張り出して増築し、その部屋を柱で支えたのがポルティコの起源といわれる。アルデコは、パラペット部と柱のモールディング、タイル装飾の額縁に使われている。

▼ バリュエールモールの公園広場の回廊

メインの舞台下手より延びる回廊。アルデコによるアーチモールとブラケットの白が、緩やかにアールを描くサーモンピンクの壁面に映え、空間にリズム感と広がりをもたらしている。

舞台装置としてのアルデコ

「舞台よりも、舞台で何を演じるかが大事」。訪れる人々を主人公に仕立てる〈空間〉と、ドラマチックな〈時間〉をつくり出す上で、アルデコの装飾効果は見過ごせない。

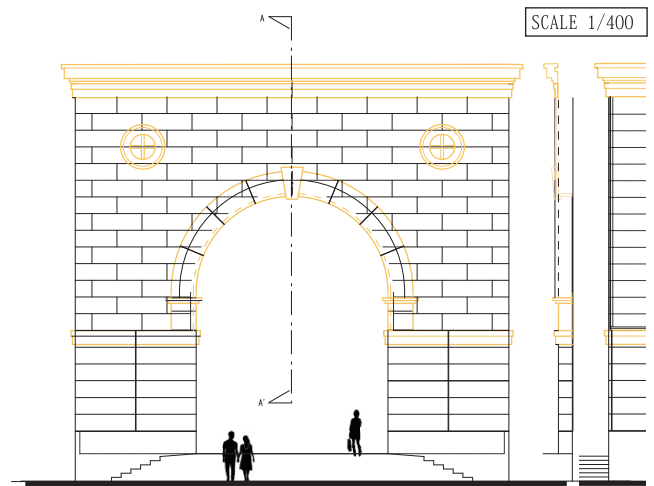
ポルティコ風回廊の、古いイタリア建築のイメージは、「BIG HOP ガーデンモール印西」の水と緑の中で、軽快で心躍る空間に生まれ変わり、人々を旅行気分や期待に満ちた高揚へと誘う。公園劇場の舞台ファサードは圧巻だ。ベンチに座り、アルデコならではの大胆なアーチのフォルムを眺め、その温かみのある曲線と、心地よさが胸の高鳴りを大きくする。

「西洋建築本来の石のプロポーションを再現するため、ベースに取付けるモールディングの厚みにはこだわった」という。施設はS造の倉庫建築だ。無機質な外観を、いかに表情豊かに蘇らせるか。そして各ゾーンのテーマ性をいかに活発に切り替え、且つさりげなく演出



できるか。そうしたデザインコンセプトのもと、アルデコの質感やデザインの自由度は大きな効果をもたらしている。

「軽量で加工しやすい特性をもちながらも、重厚感のある質感、加えてローコストという面で、効率的で活用性の高い建材といえる。」



◀▲ ヴァリューモールの劇場(舞台)ファサードを飾るアルデコの大型モールディング(黄色部分)が際立つ。軽量性と重厚感の両特性を見事に発揮できた箇所でもある。

「アルデコ」との出会いと期待

山本氏は、国内外の再開発を多く手掛ける中で、ヨーロッパの古い街並みの再生に、フランスの某セメント会社による軽量コンクリートの擬石を使っていたという。

日本においては、輸入建材によるコスト高や納期的な問題に加え、質感のばらつき、重量による躯体への負担など、建材の選択に苦慮されたとのこと。そんな折、当施設のプロジェクの中で、アルデコを知った。

「施設のイメージを変えるとき、何ができるのか？今ある

商業施設の形態は、世の中が固定すれば持続するかもしれないが、より効果的な方向で変わる可能性もある。

それは、色や形状の着せ替えにどこまで対応できるのか。いかに取り外しや持ち運びが楽にできるのかということ。そうした点から、今後アルデコの“更新性”に期待したい。将来へのバリエーションをイメージした提案が具体化できると、説得力が増すのではないだろうか」

(記責：株式会社インターデコム)

BIG HOP ガーデンモール印西

【所在地】	千葉県印西市原1-2	【発注者】	株式会社 ミキシング
【着工】	2006年10月	【設計監修】	株式会社 粹設計
【開業】	2007年9月28日(金)	【環境デザイン】	株式会社 B-WAY'S
【施設規模】	約157,000㎡		商業環境計画事務所
【延床面積】	約 66,000㎡	【設計・施工】	株式会社 竹中工務店
【店舗数】	約 150 店舗	【運営者】	株式会社 ミキシング
【駐車台数】	約 2,800台	【利用時間】	店舗により異なる
【構造】	R C造、S造、S S T-2I工法	【公式サイト】	http://bighop.jp/ http://www.mixing.co.jp/

株式会社 B-WAY'S

商業環境計画事務所

代表取締役

山本 忠夫 氏

(やまもと・ただお)

1966年、桑沢デザイン研究所卒業

西武百貨店、PARCO等のアートディレクターを

経て、1983年株式会社 B-WAY'Sを設立。

主に、全国各地の市街地再開発事業、都市基盤整備

備公団、自治体の商業活性化調査にプランニング

ディレクターとして参加活躍中。

■お問合せ先 編集・発行

株式会社 インターデコム

〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目25番13号 浜松町NHビル 7F TEL 03-6452-8901 FAX 03-6452-8904

<http://www.interdecom-co.com> / E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

iDecom®

「ARDECO NEWS 5号」2008年2月25日発行